

日本家庭科教育学会 2014(平成 26)年度例会

日本家庭科教育学会
会長 大竹 美登利

日本家庭科教育学会 2014 年度の例会を下記の要領で開催いたします。
会員の皆様、どうぞ多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

共催: 日本家庭科教育学会 ・ 東京学芸大学

日時: 2014 年 11 月 15 日(土) 13:00~17:00 (受付は 12:30 から)

場所: 東京学芸大学

*JR武蔵小金井駅・北口より 京王バス⑤ 小平団地行き、約 10 分 「学芸大正門」下車

*JR国分寺駅・北口より 徒歩約 20 分

タイムスケジュール

受付	12:30~	南講義棟4階
研究発表	13:00~15:00	S410・S403・S404・S406 講義室
講演・シンポジウム	15:10~17:00	S410 講義室

理事会 10:00~12:00(総合教育科学研究棟 第3号館 105)

地区会代表者会議 17:15~19:00(総合教育科学研究棟 第3号館 105)

- ★研究発表の発表者でパワーポイントご使用の方は、12:30 から 13:00 までの間に各会場にてデータのインストールを行ってください。
- ★口頭発表の時間は 15 分、質疑応答の時間は 5 分です。
- ★口頭発表のための資料は、パワーポイントおよび印刷物とします。

参加費: 正会員 1,800 円 学生会員 1,000 円
非会員 2,000 円 学生非会員 1,500 円

上記に関する問い合わせ先: 日本家庭科教育学会事務局
〒112-0012 文京区大塚 4-39-11 仲町YTビル 3 階
Tel & Fax 03-3942-7885
E-mail kateika@amethyst.broba.cc

I. 研究発表(13:00~15:00)

第1会場(4階 S410 講義室)

座長 伊藤 葉子(千葉大学)

- 1-1 乳児および低年齢幼児を対象とした交流活動 ○田甫綾野(山梨大学)
における「かかわり」のあり方について

1-2 人と人との関わりを通して育む児童の自尊感情 ○増田仁美(袋井市立山名小学校)
志村結美(山梨大学)

1-3 アンケートで捉えた大学生の抱く家族像 ○谷沙織
(広島大学教育学研究科 (院生))

第2会場(4階 S404 講義室)

座長 鈴木 真由子(大阪教育大学)

2-1 被服や衣生活の変化と家庭科の学習指導要領 ○青木香保里(愛知教育大学教育学部)
および教科書に関する検討 日景弥生(弘前大学教育学部)
志村結美(山梨大学教育人間科学部)

2-2 中学生の洗剤の選択に関する実態と課題 ○菊地英明(東京学芸大学大学院教育学研究科(院
-柔軟剤との相違点と洗剤の液性に着目して- 生))
生野晴美(東京学芸大学教育学部)

2-3 家庭科教育における生活文化に関する授業開 ○檜府暢子(東京大学教育学部附属中等教育学校)
発 阿部睦子(東京学芸大学附属高等学校)
亀井佑子(愛国学園短期大学)
志村結美(山梨大学)
仙波圭子(女子栄養大学)
仲田郁子(千葉県立流山南高等学校)

座長 得丸 定子(上越教育大学)

2-4 調理の生活実践を促すための要因分析 ○田中由美子(安田女子大学家政学部)
-女子大学生の調理学実習及びアンケート調
査に基づく考察-

2-5 生活場面で実践できる力の調査 ○星野洋美(常葉大学教育学部)
-食生活- 吉本敏子(三重大学教育学部)
小川裕子(静岡大学教育学部)
室雅子(椋山女学園大学生生活科学部)
吉岡吉江(三重大学教育学部附属中学校)
安場規子(伊賀市立玉滝小学校)
吉原崇恵(元静岡大学教育学部)

2-6 生命に対する感生と家事を手伝う時間との関連 ○福田豊子(昭和学院秀英中学・高等学校)

第3会場(4階 S405 講義室)

座長 井元 りえ(女子栄養大学)

3-1 授業記録の読解方略を基にした家庭科と他教 ○佐々木貴子(北海道教育大学札幌校)
科の学習過程の比較・検討
-「家庭科」と「理科」の課題解決への姿の違い-

- 3-2 小学校家庭科における言語活動の充実をめざした授業開発 ○藤田紗矢(身延町立原小学校)
志村結美(山梨大学教育人間科学部)
- 3-3 多様性の顕在化によって相互作用を促す家庭科授業 ○伊波富久美(宮崎大学大学院教育学研究科)

座長 佐々木 貴子(北海道教育大学)

- 3-4 家庭科におけるキャリア教育の教材に関する提案 ○丹采風(山梨大学大学院教育学研究科(院生))
志村結美(山梨大学大学院教育学研究科)
- 3-5 中学校家庭科における意思決定プロセスの指導と評価の一体化に関する研究 ○角間陽子(福島大学人間発達文化学類)
小口博子(長野県諏訪市立諏訪南中学校)
- 3-6 ドイツにおける家政教育
-ヘッセン州の初等・中等学校の事例から- ○表真美(京都女子大学)
花輪由樹(京都大学)
小倉育代(大阪女子短期大学)

第4会場(4階 S403 講義室)

座長 伊深 祥子(愛知教育大学)

- 4-1 中学校技術・家庭科における防災教育の認識とその変遷
-学習指導要領及び学習指導要領解説を中心に- ○末川和代(日本女子大学大学院家政学研究科(院生))
天野晴子(日本女子大学家政学部)
- 4-2 福島原発以降におけるESDの視点検討
-一年後の子どもへのインタビューの分析から- ○芝田陽子(安城市立三河安城小学校)
山田綾(愛知教育大学)
- 4-3 中学校家庭科の「地域の社会資源との協働」における課題
-教師への実態調査結果から- ○加賀恵子(静岡大学大学院教育学研究科(院生))

座長 榊原 典子(京都教育大学)

- 4-4 高校生の家事頻度に与える家庭科の履修単位数別の効果
-東北地方調査の分析から- ○岩崎香織(國學院大學栃木短期大学人間教育学科)
- 4-5 学んだ大学生と教えている教員からみた高等学校家庭科における現状と課題 ○横山弘美(栃木県立栃木商業高等学校)
赤塚朋子(宇都宮大学教育学部)
- 4-6 家庭科教育法における実践的授業力の育成 ○伊深祥子(愛知教育大学)

II. 講演・シンポジウム(15:10～17:00)

会場:講義棟(S棟)4階 S410

テーマ:いま進んでいる教育改革と家庭科

—家族についての素朴信念からの解放のために—

趣旨: 生活の様々な学びを通じて、今日の生活課題について、創造的に考え、自主的に行動できる人間を育成するために、本例会では家族について取り上げる。家族形態が多様化するなかで、家族の学習には家族、個人をどうとらえるかについて、とまどいの声が多く聞かれる。そこで基調講演は、乳児から高齢者までを対象に、一貫して人間関係の生涯発達を理論的、実証的に検討して来られた高橋恵子氏に発達心理学の立場からエビデンスや提案をお願いし、シンポジウムでは小学校と中学校での実践報告を踏まえ、家族関係あるいは人間関係をどのようにとらえたらよいかを考え、問い直す機会にしたい。

基調講演 家族についての素朴信念からの解放のために- 発達心理学からの提案
高橋恵子(たかはし・けいこ)氏(聖心女子大学名誉教授)

シンポジウム
シンポジスト 古重奈央氏(千葉市立打瀬小学校教諭)
笥 敏子氏(小金井市立小金井第一中学校教諭)

コーディネーター 堀内かおる氏(横浜国立大学)

東京学芸大学キャンパス案内図

